【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-522150(P2004-522150A)
【公表日】平成16年7月22日(2004.7.22)
【年通号数】公開・登録公報2004-028
【出願番号】特願2002-561914(P2002-561914)
【国際特許分類第７版】
　ＧＯ１Ｎ　1/06
【ＦＩ】
　ＧＯ１Ｎ　1/06　　Ｈ
　ＧＯ１Ｎ　1/06　　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成17年1月17日(2005.1.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
垂直方向の切断運動を行なうサンプル保持装置（３２）と、切断刃（２６）、またはブレードホルダに組み付けられた切断ブレードからなる切断エレメント（２４）のための刃保持装置（１２）とを備えたベースフレーム（１０）を有するミクロトームにおいて、
前記刃保持装置（１２）が、前記ベースフレーム（１０）の下端部から前方に突出する一対の側板部（１４）を備え、かつ該一対の側板部（１４）が、前記ベースフレーム（１０）が置かれている支持面を該ベースフレーム（１０）のために拡大させるように該ベースフレーム（１０）の底面を前方に延長していることを特徴とするミクロトーム。
【請求項２】
前記一対の側板部（１４）が同一構成を有することを特徴とする請求項１記載のミクロトーム。
【請求項３】
前記刃保持装置（１２）の前記一対の側板部（１４）が、前記ベースフレーム（１０）と一体に形成されていることを特徴とする請求項１または２記載のミクロトーム。
【請求項４】
前記刃保持装置（１２）の前記一対の側板部（１４）が、前記ベースフレーム（１０）にねじ留めまたは溶接されていることを特徴とする請求項１または２記載のミクロトーム。
【請求項５】
前記一対の側板部（１４）が、前記切断エレメント（２４）を収容かつ保持するために設けられていることを特徴とする請求項１から４のいずれか１項記載のミクロトーム。
【請求項６】
前記一対の側板部（１４）のそれぞれが、前記切断エレメント（２４）を収容かつ保持するための変位可能な１個の支持台（２０）を備えていることを特徴とする請求項１から４のいずれか１項記載のミクロトーム。
【請求項７】
前記切断エレメント（２４）を収容かつ保持するための変位可能な１個の支持台（２０）が前記一対の側板部（１４）上に設けられ、該支持台（２０）が前記一対の側板部（１

４）間に橋架されていることを特徴とする請求項１から４のいずれか１項記載のミクロトーム。
【請求項８】
前記一対の側板部（１４）間に受け桶（３６）が設けられていることを特徴とする請求項１から７のいずれか１項記載のミクロトーム。
【請求項９】
前記受け桶（３６）に、前記一対の側板部（１４）間に延びる桶部分を備えたスライス伸ばし桶（４０）が組み合わせられていることを特徴とする請求項７記載のミクロトーム。